

1 回目

南陽市：山形県の南東部。人口 28000 人。赤湯温泉。自然。さくらんぼ。ぶどう。ワイナリー。ラーメン課。龍上海（りゅうしゃんはい）が有名。

矢祭町：人口 4900 人。福島県の一番南、最南端。滝川溪谷。桜の番付で大関に。H13 に、日本に先駆けて「合併しない宣言」。自分たちでやっていこう、としてきた。議員報酬を日額でやっていたが、おとしし 4 月から月額に戻した。

藤枝市：静岡県の真ん中。静岡市と隣接し、ベッドタウン。人口 14 万人。高速道路のインターある。「都会の便利さを感じられる」。自然、中山間地域。ほどよく都会、ほどよく田舎。朝ラー文化。サッカーの街。J2 の藤枝 MYFC があり、槇野が監督。ほかにも長谷部、名波、ゴン中山は藤枝市出身。藤枝順心 3 連覇。サッカーでコミュニケーション。

淡路市：淡路島の北側、人口 4 万人。明石海峡で本州に行ける。22 年前に 5 つの町が合併。観光。リゾート開発。「黄金の市バス」。ふるさと創生事業 1 億円で 62 キロの金塊をレンタル。触れる金塊で大ヒット、年間 30 万人。観光名所。時代とともに熱が冷める。金塊のレンタル返却で戻った 1 億円で「黄金の市バス」を導入し、話題になっている。

龍郷町：人口 6000 人、透明度の高い海。伝統。奄美大島。大島紬。秋名バラ発祥の地。住民同士のつながり。子育て支援。

2 回目

最上町：医療・交通・地域コミュニティをどう維持していくか？最近の暮らしを見える化する広報。この町でどんな暮らしをしているのか。

矢祭町：昨年度から役場庁舎、公民館を複合的に建設する基本構想。65 年たっている小学校の建物を使っている。子育てサポート日本一をめざして、第三子 100 万、第四子 150 万のお祝い金がある。

阿南市：昨年から引き続き人材塾に参加している。阿南市は徳島県の南部に位置、一番東側。朝日が一番に見られる。LED（日亜化学）発祥。サップ（マリンスポーツ）盛ん。関係人口を呼び込む。ふるさと住民登録制度。

龍郷町：民泊事業。修学旅行生が島の暮らしを体験できる。再び訪れてくれる。自転車の貸し出し。ゆっくり町をめぐってもらおう。また来たいと思ってもらえるように。

淡路市：人口減少対策。移住者に住宅 195 万円を補助。企業誘致。ふるさと納税県内 1 位。職員の確保が難しい。神戸市周辺の自治体と連携。PR サイトがある。市役所内外で取り組んでいる。